

平成 24 年度論文一覧

【審査付論文】

[地理空間情報部]

- ・佐藤 浩・岡谷隆基・小荒井 衛・鈴木 啓・飛田幹男・矢来博司・関口辰夫 (2012) : SAR 干渉画像を用いた地すべり性地表変動の検出について—山形県月山周辺を事例にして—, 日本地すべり学会誌, Vol.49, No.2, 61-67.
- ・佐藤 浩・岡谷隆基・中埜貴元・小荒井 衛・岩橋純子・宇根 寛 (2013) : SAR 干渉画像で検出された地すべり域における詳細野外調査の結果, 日本地すべり学会誌, Vol.50, No.1, 18-23.
- ・Hiroshi P. Sato・Hiroshi Yagi (山形大学) (2011) : Landslide Susceptibility Mapping in Western Nepal Using Active Fault Map (活断層図を用いたネパール西部における地すべり脆弱性の図化), Journal of Nepal Geological Society (ネパール地質学会誌), Vol.43, 309-316.

[地理地殻活動研究センター]

- ・黒石裕樹 (2013) : Comparison of Latest Global and Regional Gravimetric Geoid Models with GPS/leveling Geoidal Undulations over Japan (全球および日本の重力ジオイド・モデルと GPS/水準ジオイド高との比較), International Association of Geodesy Symposia 138, Reference Frames for Applications in Geosciences, Springer, 221-227
- ・中埜貴元・小荒井衛・星野実 (応用地理部)・釜井俊孝 (京都大学)・太田英将 (太田ジオリサーチ) (2012) : 宅地盛土における地震時滑動崩落に対する安全性評価支援システムの構築, 日本地すべり学会誌, vol.49, No.4, 12-21
- ・水藤尚・西村卓也・小林知勝・小沢慎三郎・飛田幹男・今給黎哲郎 (2012) : 2011 年 (平成 23 年) 東北地方太平洋沖地震に伴う地震時および地震後の地殻変動と断層モデル, 地震 2, vol.65, 95-121
- ・岡谷隆基 (地理情報解析研究室), 村木広和 ((株)イメージワン) (2012) : 合成開口レーダーの概要と応用例, 地盤工学会誌, vol.60, No.7, 44-48
- ・西村卓也 (2012) : 測地観測データに基づく東北日本の最近 120 年間の地殻変動, 地質学雑誌, 第 118 巻, 第 5 号, 278-293
- ・宗包浩志 (2012) : Coseismic and early postseismic slips associated with the 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake sequence: The EOF analysis of GPS kinematic time series(GPS キネマティック時系列の EOF 解析により明らかになった、2011 年東北地方太平洋沖地震に関連する一連の地震に伴うすべり分布), Earth Planets Space (地球、惑星、宇宙), vol.64(No.12), 1077-1091
- ・小荒井衛・吉田剛司 (酪農学園大学)・長澤良太 (鳥取大学)・中埜貴元・乙井康成・日置佳之 (鳥取大学)・山下亜紀郎 (筑波大学)・佐藤浩 (地理空間情報部)・司馬愛美子 (ESRI ジャパン (株))・中山詩織 (鳥取大学)・西謙一 (酪農学園大学) (2012) : 航空レーザによる景観生態学図の作成, 地図, vol.50 No.3, 16-31
- ・黒石裕樹 (2012) : 平均海面位変化と上下変動の検出に向けた験潮データの平滑化手法, 測地学会誌, vol.58, 27-42
- ・岡谷隆基・佐藤浩・中埜貴元・小荒井衛(2012) : ALOS/PALSAR 干渉画像による秋田県東成瀬地区地すべりのモニタリング, 写真測量とリモートセンシング, vol.51, No.2, 95-102.
- ・小林知勝, 飛田幹男, 小荒井衛, 岡谷隆基, 鈴木啓 (測地部), 野口優子 (測地部), 山中雅之 (測地部),

- 宮原伐折羅（測地部）（2012）：InSRA-derived crustal deformation and fault models of normal faulting inland crustal earthquake (Mj7.0) in Fukushima-Hamadori area(InSAR で捉えた福島県浜通りの正断層型地震(Mj7.0)の地殻変動と震源断層モデル), *Earth, Planets and Space* (地球, 惑星, 宇宙), vol.64, 1209-1221
- ・西村卓也・水藤尚・小林知勝・飛田幹男（2012）：新潟—神戸ひずみ集中帯を横断する測地観測による越後平野周辺の地殻変動, *地震 2*, vol.64(No.4), 211-222
 - ・神谷泉（2012）：面積と角の歪みのバランスを考慮した地図投影法の評価手法と極の性質, *地図*, vol.50, No.3, 1-15
 - ・今給黎哲郎・小荒井衛（2012）：Wide area land subsidence caused by “The 2011 Off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake” (平成 23 年(2011 年)東北地方太平洋沖地震による広域の土地の沈降について), *Soils and Foundations*, vol.52, Issue5, 842-855
 - ・小沢慎三郎・西村卓也・宗包浩志・水藤尚・小林知勝・飛田幹男・今給黎哲郎（2012）：東北地方太平洋沖地震の地震前、地震時、地震後の変動, *Journal of Geophysical Research*, vol.117, B07404, doi : 10.1029/2011JB 009120
 - ・小荒井衛・中埜貴元（2012）：東北地方太平洋沖地震による利根川中下流域の液状化被害分布と過去の地形図・空中写真からみる地形条件, *地質汚染—医療地質—社会地質学会誌*, 28/29 合併号
 - ・小林知勝・大湊隆雄（東京大学地震研究所）・井田喜明（アドバンスソフト株式会社）・藤田英輔（防災科学技術研究所）（2012）：Intermittent Inflations prior to the Caldera Formation at the 2000 Miyake-jima volcanic activity, Recorded by Broadband Seismometers(2000 年三宅島火山活動のカルデラ形成直前に広帯域地震計で断続的に記録された膨張), *Earth and Planetary Science Letters* (地球・惑星科学短報), vol.357-358, 145-151
 - ・神谷泉・乙井康成・中埜貴元・小荒井衛（2012）：地震による斜面崩壊危険度評価判別式「六甲式」の改良と実時間運用, *写真測量とリモートセンシング*, vol.51 No.6, 381-386

[関東地方測量部]

- ・松多信尚（名古屋大学）・杉戸信彦（名古屋大学）・後藤秀昭（広島大学）・石黒聡士（国立環境研究所）・中田 高（広島大学名誉教授）・渡辺満久（東洋大学）・宇根 寛・田村賢哉（奈良大学）・熊原康博（群馬大学）・堀 和明（名古屋大学）・廣内大助（信州大学）・海津正倫（奈良大学）・碓井照子（奈良大学）・鈴木康博（名古屋大学）(2012)：東北地方太平洋沖地震による津波被災マップの作成経緯と意義, *E-Journal GEO*, Vol.7 No.2, 214-224

【審査無し論文】

[企画部]

- ・大木章一（2012）：国土変遷アーカイブの米軍空中写真, 空間情報による災害の記録—伊勢湾台風から東日本大震災まで— (鹿島出版会), 288-290
- ・大木章一（2012）：国土地理院の官製地図, *日本国際地図学会 50 年のあゆみ*, 65-67
- ・金子純一（2013）：第 26 回国連地名専門家グループ会合報告, *国土地理院時報*, 第 123 集, 49-59
- ・南 秀和・安藤暁史・大塚孝治・菅原友恵・小野 康・瀧 繁幸（2013）, *地理空間情報活用推進基本計画* (平成 24 年 3 月 27 日閣議決定) について, *国土地理院時報*, 第 123 集, 81-93
- ・伊藤広治・安藤暁史・小島 泉・勝俣圭一・菅原友恵（2013）, 「G 空間 EXPO2012」における国土地理院の取り組み, *国土地理院時報*, 第 123 集, 95-104

- ・金子純一・笹川啓（基本図情報部）（2013）：第10回国連地名標準化会議報告，国土地理院時報，第123集，129-141
- ・河瀬和重（2013）：Concise Derivation of Extensive Coordinate Conversion Formulae in the Gauss-Krüger Projection（Gauss-Krüger 投影における広域座標換算式の簡潔な導出），国土地理院報告（欧文），第60巻，1-6

[測地部]

- ・山際敦史・檜山洋平（2013）：Maintenance of geodetic reference points using GNSS（衛星測位システムを用いた測地基準点の管理），Geospatial World Weekly（週刊地理空間世界（オンライン誌）），2013年1月7日掲載（<http://www.geospatialworld.net/Paper/Application/ArticleView.aspx?aid=30399>）
- ・山際敦史（2012）：平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震に伴う基準点成果改定について，「土地家屋調査士」，平成25年3月号，3-6
- ・山際敦史・檜山洋平（2013）：Revision of Survey Results of control points（基準点の測量成果改定），Coordinates（座標），2013年3月号，8-11
- ・鈴木啓・宮原伐折羅（測地観測センター）（2013）：アジア太平洋地域におけるGPS解析戦略の構築，国土地理院時報，第123集，1-8
- ・測地部宇宙測地課（2012）：VLBI2010～国際VLBIの動向～，機関誌「全測連」，全測連2012号，19-21
- ・栗原忍・Dan MacMillan (NVI, Inc./NASA GSFC) (2012): The Tohoku Earthquake: One Year After（東北地震：一年後），IVS Newsletter（IVS ニュースレター），Issue 32, 6
- ・川畑亮二・栗原忍・小門研亮・福崎順洋・黒田次郎・石原操・向井泰子（（株）エイ・イー・エス）・西川誉（（株）エイ・イー・エス）（2012）：Tsukuba 32-m VLBI Station（つくば32m VLBI 観測局），International VLBI Service for Geodesy and Astrometry 2011 Annual Report（国際VLBI事業2011年報），NASA/TP-2012-217505, 111-114
- ・小門研亮・栗原忍・川畑亮二・農澤健太郎（（株）エイ・イー・エス）（2012）：Tsukuba VLBI Correlator（つくば相関局），International VLBI Service for Geodesy and Astrometry 2011 Annual Report（国際VLBI事業2011年報），NASA/TP-2012-217505, 165-168
- ・小門研亮・栗原忍・川畑亮二・農澤健太郎（（株）エイ・イー・エス）（2012）：Tsukuba VLBI Analysis Center（つくばVLBI解析センター），International VLBI Service for Geodesy and Astrometry 2011 Annual Report（国際VLBI事業2011年報），NASA/TP-2012-217505, 264-267
- ・福崎順洋（2012）：国土地理院つくば32mアンテナ，天文月報（9月号），第105巻，第9号，534・536
- ・福崎順洋（2012）：国際VLBI事業（IVS）技術仕様ワークショップ及び第7回IVS総会参加報告，測地学会誌，第58巻，第2号，95-96
- ・植田勲・阿部聡・後藤勝広（関東地方測量部）・海老名頼利・石倉信広（東北地方測量部）・田上節雄（中部地方測量部）（2013）：磁気図2010.0年値の作成，国土地理院時報，第123集，9-19
- ・植田勲・阿部聡・後藤勝広（関東地方測量部）・海老名頼利・白井宏樹・加川亮（測地観測センター）（2012）：国土地理院の提供する地磁気データの紹介と展望，Conductivity Anomaly研究会2012年論文集，37-41
- ・山際敦史・檜山洋平・矢萩智裕・矢来博司・今給黎哲郎・黒石裕樹（2012）：Revision of Survey Results of Control Points After the 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake（2011年東北地方太平洋沖地震後の基準点測量成果の改定），FIG Article of the Month November 2012（世界測量者連盟今月の記事2012年11月号（オンライン誌）），2012年11月1日掲載，12月12日最終更新
（http://www.fig.net/pub/monthly_articles/november_2012/november_2012_yamagiwa.html）

- ・福崎順洋・石原操・黒田次郎・栗原忍・小門研亮・川畑亮二 (2012) : New Project for Constructing a VLBI2010 Antenna in Japan (日本における VLBI2010 対応新アンテナ建設計画), 第 7 回 IVS 総会集録, NASA/CP-2012-217504, 18-22
- ・栗原忍・小門研亮・黒田次郎・石原操・川畑亮二 (2012) : The impact of the 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake on Tsukuba 32-m VLBI station (東北地方太平洋沖地震がつくば 32m VLBI 観測局に与えた影響), 第 7 回 IVS 総会集録, NASA/CP-2012-217504, 433-439
- ・小門研亮・栗原忍・川畑亮二・農澤健太郎 ((株) エイ・イー・エス) (2012) : Recent Activities of Tsukuba Correlator / Analysis Center (つくば相関局・解析センターの最近の活動について), 第 7 回 IVS 総会集録, NASA/CP-2012-217504, 105-114

[地理空間情報部]

- ・小清水寛・高桑紀之 (2013) : WEB ブラウザ上での表示に適した配信地図データの作成技法とその応用, 国土地理院時報, 第 123 集, 105-115.

[基本図情報部]

- ・政春尋志・永山透 (企画部 (執筆当時), 北海道地方測量部 (現在)) (2012) : I-2 国土地理院の災害対応, 空間情報による災害の記録—伊勢湾台風から東日本大震災まで— (鹿島出版会), 4-12.
- ・政春尋志 (2012) : II-2.12 駿河湾を震源とする地震 (1) 災害の概要, 空間情報による災害の記録—伊勢湾台風から東日本大震災まで— (鹿島出版会), 164.
- ・長谷川裕之・石山信郎 (2013) : Publication of Digital Map (Basic Geospatial Information) (数値地図 (国土基本情報) の刊行について), 国土地理院報告 (欧文), 第 60 巻, 19-24
- ・大野裕幸・鈴木禎子・石山信郎 (2013) : Publishing of Digital Topographical Map 25000 (電子地形図 25000 の刊行について), 国土地理院報告 (欧文), 第 60 巻, 25-36

[応用地理部]

- ・関口辰夫 (2012) : 高精度湖底地形測量について, GIS—NEXT, 2012 年 7 月号第 40 号, 92
- ・畠山真介 (2012) : 東日本大震災における被災地沿岸湖沼の高精度湖底地形調査, エストラレー, 2012 年 7 月号, 16~22
- ・応用地理部 (2012) : 「我々の求める未来」と地理空間情報—リオ+20 において地理空間情報及び地球地図の重要性が認識—, 月刊「測量」2012 年 9 月号

[測地観測センター]

- ・三浦優司・川元智司 (2013) : 験潮場の GPS 連続観測データを用いた潮位監視手法の検討, 国土地理院時報, 第 123 集, 21-33

[地理地殻活動研究センター]

- ・中埜貴元・小荒井衛・乙井康成・小林知勝 (2013) : 2011 年 3 月 12 日長野県・新潟県県境付近の地震に伴う災害の特徴, 国土地理院時報, 第 123 集, 35-48
- ・小林知勝・飛田幹男・鈴木啓 (測地部)・野口優子 (測地部) (2013) : InSAR-derived coseismic deformation of the 2010 southeastern Iran earthquake (M6.5) and its relationship with the tectonic background in the south of Lut

Block (InSAR 解析で捉えられた 2010 年イラン南東部の地震 (M6.5) に伴う地震時地殻変動と Lut ブロック南部のテクトニクスとの関係), 国土地理院報告 (欧文), 第 60 巻, 7-17

- 小荒井衛・岡谷隆基 (2012) : つくば市における竜巻災害の写真判読と地形との関係, 写真測量とリモートセンシング, vol.51, No.3, 134-135
- 西村卓也(2012) : 地殻変動の観測とそこから推定されること, milsil (ミルシル) , 5 号, 6-9
- 小荒井衛・岡谷隆基(2013) : 2012 年 5 月のつくば市における竜巻災害について, 国土地理院時報, 第 123 集, 121-128